

地元大学との交流

東区では平成 18 年度から、行政と地域住民・地元大学が連携して、地域住民の主体的な健康づくり活動を進めていくことに貢献したいと考え、看護学科と栄養学科を持つ天使大学と交流を図っています。

大学の持っているノウハウを地域住民の健康づくりに生かし、交流を深めることや、保健センターで実施している業務を大学及び住民に紹介して、理解してもらうとともに、今後における学生の教育研究・実習活動などに役立ててもらうことを目的としています。

また、平成 21 年度は、音楽学科を持つ札幌大谷大学とも交流を図ります。

【平成 21 年度 交流事業】

1 「天使祭」

天使大学の学校祭に、東区健康づくり連絡協議会と東保健センターが参加。

2 「健康づくりフェスティバル」

東区健康づくり連絡協議会主催事業に天使大学と札幌大谷大学、札幌市が共催。

※平成 21 年 6 月 20 日に開催された「天使祭」の様子について、ご紹介します。

【健康づくりパネル展】

東区で地域の健康づくり活動に取り組む地域の方々の姿をパネルにして、来場者や学生に紹介。また、交流スペースでは、来場者と健康づくり連絡協議会運営委員との交流を図った。



【健康チェックコーナー】

学生が、アルコールパッチテスト・血圧測定などを実施。その結果を受けて、保健センターの保健師・栄養士が個別相談を行った。





東区の皆様と天使祭を実施して学んだこと

天使大学看護学科2年 葦の会 中山侑美 栗原 光

私たちは第56回天使祭において、東保健センター・東区健康づくり連絡協議会のご協力をいただき、「健康相談」、「健康づくりパネル展」を企画・実施させていただきました。例年ご協力いただいている企画ですが、今年度はこれまでの反省を生かし、住民の皆様や来場して下さる方々へより良いものを提供できるような様々な工夫をしました。例えば、昨年よりも校内にポスターを増やし、血圧について深く知ってもらうために正常血圧・高血圧などの基準値を示したパンフレットも作成しました。また、「健康相談」の会場ではビタミン等の栄養素を多く含む食品の展示をしました。さらに今年度は東区の栄養士の方の協力を得て、食事や栄養に関する指導をお受けいただけるようにしました。一方、「健康づくりパネル展」にスタンプラリーのポイントを置き、東区の方と本学の学生との交流の場を増やすなども新しい試みでした。考えれば考えるほど「より良いものを提供したい」という気持ちは高まり、当日へ向けて様々なアイデアが浮かび、それらを一つ一つ実行に移していくための準備を行っていきました。

当日は、「健康相談」には列ができるほどの人気で、保健師・栄養士の方からの専門的なアドバイスに真剣に耳を傾ける方も多く、何人もの来場者の方から「楽しかった。」という言葉をいただき、企画への努力が実ったことに喜びを感じました。また、「健康づくりパネル展」では、例年よりも東区の方と本学生が直接お話をする機会を多く持つことができ、とても良い交流の場となったと思います。私自身、この交流により、東区の大学で学ぶ学生としてもっと東区の皆さんと関わっていきたいと感じるようになり、皆様にはとても感謝しています。

今、私たち看護学科2年生は「看護治療学」という授業の中で「地域住民を対象とした健康教育」を理解するために、学生同士で企画・計画し、実施するという学習をしています。そのなかでは、住民の方に健康について興味・関心を抱いてもらい、そして健康のために自らの生活習慣を変容してもらうことができるのか、そのための看護理論や支援方法・技術について学んでいます。今振り返ってみると、天使祭で行った二つの企画も、これらの学習を元に行う必要があったのだと気付きました。私たちにとって天使祭を通して東区の方々から得たものは他にもたくさんありますが、この経験は、自身の看護に臨む姿勢や意識を改めて考えさせてくれる貴重な経験となりました。この経験を今後の学習に生かし、励んでいきたいと思えます。

最後に、このような場を設けてくださった東区の皆様に感謝し、これからも東区の皆様と一緒に天使祭を創り上げていきたいと考えています。ありがとうございました。